

4 番（小川義昭君）

それでは、以下 2 番目から 6 番目までは、白山市公立幼稚園のあり方についての質問であります。

先の 9 月定例会で北嶋議員が質問され、さらに昨日質問された宮岸議員の質問内容と一部重複するかと思いますが、私の視点で質問いたします。

白山市における公立、私立幼稚園園児数は、平成 18 年の 1,000 人をピークに、その後少子化が進行して、毎年減少傾向となり、平成 24 年 5 月 1 日現在では 80 人、8%減の 920 人となりました。

ピーク時の就園児 1,000 人のうち公立は 297 人で 30%、私立は 703 人で 70% でありましたが、現在は就園児 920 人に対し、公立は 136 人で 15%、私立は 784 人で 85%であります。

公立の園児の割合がピーク時に比べ半減しました。公立幼稚園には公立としてのよさや役割があります。市は私立を含む白山市のあるべき幼稚園教育の内容、水準を確保し、リードする責任があると思います。

公立のよさをアピールし、経営努力に努め、地域の幼稚園教育の指導性を担う姿勢が弱かったのではないのでしょうか、半減の原因はどこにあるのかを教育長にお伺いいたします。